

議員提出第1号議案

ホームドアの設置及び内方線付き点状ブロックの整備促進と併せてソフト面での対応を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成29年3月28日

提出者	稲城市議会議員	北 浜	けんいち
賛成者	〃	つのじ	寛 美
〃	〃	榎 本	久 春
〃	〃	佐々木	あきら
〃	〃	藤 原	愛 子
〃	〃	山 岸	太 一
〃	〃	坂 田	たけふみ
〃	〃	鈴 木	誠

(提案理由)

視覚障がい者をはじめ駅利用者が安心して駅ホームを利用できるよう、総合的な転落事故防止対策を実施させるため。

ホームドアの設置及び内方線付き点状ブロックの整備促進 と併せてソフト面での対応を求める意見書

本年1月14日、JR京浜東北線蕨駅のホームから盲導犬を連れた男性が転落し、列車にはねられ、死亡するという大変痛ましい事故が起きた。昨年は8月に東京メトロ銀座線・青山一丁目駅で、10月には近鉄大阪線・河内国分駅で、同様な死亡事故が連続して起きている。

平成28年3月末現在、1日に10万人以上の乗降客がある全国260駅のうち、ホームドアが設置されている駅は82駅にとどまっている。駅の安全対策の観点からも、列車との接触や転落防止に効果が高いホームドアや転落防止柵の設置は急務である。

また、ホームドア等が設置されるまでの対策として、視覚障がい者がホームの内側を判別できる内方線付き点状ブロックの整備も重要である。

平成28年3月末現在、1日の利用者が1万人以上の駅での、内方線付き点状ブロック等の整備率は76.9%であるが、全駅において早期に整備を進めるべきである。

よって、稲城市議会は、政府に対し、視覚障がい者をはじめ駅利用者が安心して駅ホームを利用できるよう、ハード、ソフト両面における総合的な転落事故防止対策の実施を急ぐとともに、駅ホームのさらなる安全性の向上に向けて、以下の事項について取り組むことを強く要請する。

記

1. ホームドアの設置にあたっては、全ての鉄道駅ホームの危険箇所の実態調査を速やかに行うこと。とりわけ、転落の危険性が高い駅については、現在計画中の駅と併せて、速やかな設置を実現すること。

2. 内方線付き点状ブロックの整備については、全駅での整備を促進すること。
3. ソフト面の対応として、希望者への駅係員の介添えや一般旅客による誘導案内、さらには視覚障がい者への積極的な声かけ等、接触や転落事故の未然防止対策を強化すること。
4. ホームドアの設置を推進するため、技術開発支援を含め、普及に向けた予算措置を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年3月28日

稲城市議会議長 原 島 茂

内閣総理大臣、国土交通大臣 殿